

第4章 記述データ

問21 長崎市で「男女共同参画社会」を実現するため、あなたのアイデアやご意見などをお聞かせください。

-
- 「男女共同参画」には、あまり賛成できない。行き過ぎの男女平等は社会全体をオカしくしていくと思う。私個人の感覚では日本の女性はかなり自由だし、尊重されていると感じる。女性の方々が今以上の「社会的地位の向上」を望むならば、それは「何か」を捨てるしか無いと思うし、あと本人の意思と能力の問題と感じる。結局、やりすぎの「男女共同参画社会」は、男性差別を作りだすだけ。（男性・年齢不詳）
-
- 「男女共同参画社会」という企画事態、知らない人が多い。広報誌、パンフレットでは周知徹底にならない。会社、学校などで時間を取り、取って貰い、やって行かないとダメでは？（男性・50代）
-
- 「男女共同参画社会」というものをわかりやすく説明、認知させるのが先決。（女性・30代）
-
- 10代20代にアピールして下さい。「男女共同参画社会」まず、このネーミングからして堅くて古いイメージです。とっつきにくいし、興味を持たれにくいと思います。どの年代にアピールしていくべきか、やはり若い世代に興味を持ってもらい、自分たちで幸せな未来を作りあげていかなければと思ってもらわないと、少子高齢化のこの先、不安ばかり先にきます。50.60歳以上の意識を今から変えるのは難しいです。今まで、それで良しとされてきたのですから。「ハッピーライフプロジェクト」幸せな人生を自分たちで築くために、男女が手を取り、互いに協力し合う、お役所仕事にたよるのではなく、自分たち未来のために、だれもが協力できるような体制を整えて頂きたいです。長崎の女性は、他県では高い評価をもらいますが、県内では、してあたりまえとか、でしゃばると嫌われるとか、もったいないです。（女性・40代）
-
- あらゆる場での女性の声を聞いてほしい。（女性・40代）
 - アンケートなどといった投げやりな方法でなく、働く世代の男女にもっと意見を聞きに行くべき。（男性・20代）
 - アンケートには、それなりに書きましたが、私にとりましては、男性、女性の役割を充実させることが望ましいと思います。今回のアンケートは考えさせられました。（不詳）
-
- 今すぐには思いつかないが、年齢に関係がなく皆で行えるようなことがあればと思う。（女性・60代）
-
- 今までの職場は、男性の意見が重要であり、決定権があった。女性の発言の場が少ないような気がします。発言に関して耳を傾けるような気がします。発言に関して耳を傾けるような姿勢もなく却下されているイメージです。今さら、男女共同という社会を作るという考えでは、実現するまでに時間がかかり、あいまいのまま終わってしまうように思います。女性を重要視すれば、男性にも不満が出る。シングルファザーの補償に関して、シングルマザーの方が待遇が良かったりと、全体的に改善すべき点は沢山あると私は思います。1点にしぼるのではなく、社会全体を見直すべきだと思います。長崎だけではなく、日本全体そういう方向へしていった方がよいのではないのでしょうか。意見を、選んだ方だけに聞くのではなく、長崎に住んでる皆さんの声が必要なのではないのでしょうか。そうしないと参考にはならないと思います。一人一人意見、アドバイス違うと思います。（女性20代）
-
- 色々な機会に 催しをする団体のチラシ等を後援がなくてもアマランスにおいてほしい。市民が情報を得やすいようにするため。（その催しや講演会などに行けなくても、チラシを手にとりて読んでほしいから）（女性・20代）
 - 動く場所が少ない（男性・70代）
-
- 幼い頃からの教育の場面で、男女が社会の中では対等であることを徹底しなければいけないと思う。大人になってからでは、身についたジェンダーを考え直す事は難しい。学校や家庭において、男女は対等であることを常日頃から子どもに見せるべき。それには、職場の制度などの充実、保育施設などサービスの実態が変わらなければならぬと思う。（女性30代）
-
- 男は男の物事に対する反応のクセ、女は女の物事に対する反応のクセがあり、その事に関する本や情報はたくさんあるので各自が学習する。行政としては、図書館にそのような本のコーナーを設ける。（男性・30代）
-
- お祭り、各種イベント、子ども向けイベント等、楽しく集まれる場所にての広報活動、また、具体的な内容等のPRをしていけば少しずつ、理解が得られると思う。（男性・40代）
-
- 学校教育を充実する。育児をしている母親に、男の子にも家事等のしつけをするよう情報提供する。高齢者にも説明し理解を得る。（女性・40代）
-
- 看護師のような専門的な職種以外は、出産、子育て後、社会に復帰しづらいのは、働いていて実感します。男性が、自分の年齢より若い人の方が、接しやすいからという理由で人選したりしているのを聞いたりもしたので、やはり、意識的なものが変わらぬと、女性が生涯働くには厳しいと思います。採用担当者等のセミナーとかを国やハローワークがされてはどうですか？（女性・40代）
-
- 議会での「ヤジ」等、目にあまるものがあります。人の話を最後まで聞く事が大切です。（男性・80代）
 - 企業の経営者が参加し、いろんな分野の勉強会を開く。（女性・50代）

-
- 基本的な家庭生活においても、男女とも協力し合う。家計が男>女の為、遅くまで働くパートでも家事などは主に主婦中心となる。(女性・50代)

国や地方公共団体など、やはり男性が主に動いて決定などをしていると思う。しかし、主に男性が働く場だと、男性の考えだけで物事がすすんでしまう。また、職種によっては、その逆も言える。そのような場合(状況)に異性の方が入ると、また違う視点から問題解決が出来たり、サービスが充実するなど、いろんな面で変化が現れると思う。しかし、賃金や通学できる場が県外しかないという問題であきらめざるをえないという事があった。もっと、皆が自分を発揮できる学校(養成校)の充実など、若い人たちの男女共同参画社会というものも考える必要があると思う。(女性・20代)

-
- 経済的な余裕を持つことが1番の要因になると思うので、働きたい女性が働けるように色々と制度等を作っていくことが必要だと思います。(男性・30代)

-
- 結婚、出産を機に仕事を休むことや、できない仕事があるからといって、出世に影響しないよう企業に働きかける。(女性・20代)

-
- 高齢の為実感がわかない。このようなアンケートは、年齢制限の中で無作為に選んだ方が良いと思う。(女性・80代)

-
- 子育て期間は子供を育てやすいように手当やサービスを充実させ、その期間が過ぎれば再び希望者はスムーズに再就職を行えるように制度を検討して欲しい。現状では、子供を育てる環境がきびしいように思う。(経済的にも、心身の負担も)(男性・30代)

-
- 子育てにかかるサービスの充実を図る。雇用の確保。家庭生活に関する教育の充実。(男性・50代)
 - 固定概念を捨て、男、女という区切りを意識しないことが、差別などがなくなる方法だと思う。(女性・20代)

-
- 子どもが小さいうちは、男性でも当たり前のように育児休暇を取れるような職場が増えて欲しいです。子どもが夜泣きしても夫は仕事があるから起こせないし…休日でも仕事の疲れで昼まで寝てるし…寝かしつけをお願いしたいけど、次の日は仕事だから早く寝たいだろうと思うと、深夜まで起きててもらう訳にもいかない。(女性・30代)

-
- 子供を育てる環境を(保育園・幼稚園等)増やしていく。
子育て中の家庭に税金の免除・給付金の増額や女性の仕事枠を増やしていく。(職種・賃金等)(男性・50代)

-
- このアンケートの内容が男女差別をしている気がしました。(女性・30代)
 - 雇用の充実による残業などの負担軽減、家庭生活への貢献を促す(男性・30代)
 - 財政が厳しいので、施設やサービスが充実しにくいと思う。なんとも言えない。(女性・40代)
 - 参画しやすい社会が向上の前向きが強い人、思いやりやさしさの有る能力を持っている方を。(女性・70代)

-
- 産後の母親や子のサポートや保育施設を充実させる。出産にしても安心して働ける場所や預ける場所が確保できれば女性社会進出がよりしやすくなるのではないかと思います。私が子育てしている頃にはそういった場所がなかったように思います。(女性・50代)

-
- 市が率先して女性の職員を増やすなどの指針を示すべきではないですか？(女性・40代)
政策決定の場に男性(メンバー)ばかりだから、いつまでも変わらず不正があるのではないですか？

-
- 市が中心になってワークショップを開催。課題の優先順位をつけ解決策を話し合う。(男性・60代)

-
- 市税を使って(予算を確保)、若い世代の人(中高校生)に、男女共同参画社会のモデルを「話す、見せる、参加させる」教育をすることが大切だと思う。息の長い仕事で世代をかけて、徐々に社会のあり方を変えていく必要があり、若い時にそのような(男女共同参画型の)社会を自然に受け入れるように学校で指導できる先生の育成も必要。そのような意識を持った(先生、校長先生)教育者が少ないようにも思える。教育は重要である。そこが起点となって世の中がその方向に進んで、初めて、男女共同参画型社会が到来すると思う。若い人への地道な教育が大切だと思う。(男性・60代)

-
- 時短勤務での働き方が可能な職場をたくさん増やすことで、育児や介護で外に出られない方たちの生きがいや、精神的ストレスも和らぐのではないかと思います。正社員だから、派遣だから、パートだからではなく、働く事をもっと柔軟に考えていくことが必要なのではないかと思っています。生きがいや自分の時間を持つ事で心に余裕が出ると思います。(男性・30代)

-
- 市町村や企業その他の団体で、女性を飛躍的に登用すること。(男性・70代)

-
- 実際長崎において「男女共同参画社会」は実現されていないのでしょうか。具体的に不平等の事象を示してもらえない中でのアンケートの必要性は何なのか疑問に思います。個別の案件にきちんと取り組むことから、もし不平等があり、生きにくい長崎市なのであればそれを改善することがこのような意識調査より有用であると思います。私は女ですが、フェミニストを称し、活動する女性に対しては嫌悪感でしかない。(女性・50代)
-

社会は、少子化問題を提唱するが、女性が子どもを産みにくい、育てにくい社会である現実であり、まず女性が安心して妊娠・出産・子育てできる社会が必要。男性は、妊娠や出産をしないので、職場をやめたり、退職したりしない。その分、女性はハンデがある。産休をとりやすい環境や、保育園の確保、復帰しやすい環境を整えていくことが、男女共同参画社会へ近づく一歩ではと考えます。まずは、保育園の充実を！（女性・20代）

- 周囲の人。特に男性の理解と協力は難しい。（女性・30代）

出産育児をする上での、税金の控除やサービスがどんどん減っているし、小1の壁など、問題は山積していると感じている。少子化を改善し、女性の労働を確保できる社会が実現できなければ、長崎市というより、この国がどんどん衰退していくだろう。国の水準以上の子育て支援を長崎市が本気で取り組むのかどうか？まずは幼児課の人員をもっと優秀な人たちに換えられるかどうかだと思う。いつ行っても雰囲気がいまいし「どんなご用件ですか？」と尋ねてくる職員も一人もいない。あれじゃあ、民間の会社と比べても質としてひどすぎる。長崎市は真剣に取り組んで下さい。（男性・30代）

- 小学生までの子どもを持つ家庭には、企業、職場も協力的になるように、制度を整える。（子どもが熱を出した時などの早退、欠勤の許可等）（女性・20代）

小学校等小さなうちから男性、女性の社会的役割の固定観念をなくし、平等に社会参加する意識を育てる。（男性が当たり前で育児家事、女性が当たり前で仕事ができる雰囲気作り）会社における、育児等の男性の育児参加制度取得の促進。（男性・20代）

- 上記について、男女共に参加できる講座を増やしてほしいです。一般市民の私の眼には「女性、女性向上」という文字が強く目に映ります。これが男性の参加に気後れする部分があるのではないかと感じています。「女性」を強調せずに「皆で」住みよい社会、家族を創りたいものです。それより被害を受けている人たちを受け入れる場所づくり、安心して暮らせる手だてづくりが最優先だと思います。
①意識調査の質問枝が多すぎます。しかも、同意味の質問があります。もっと精進して質問を少なくしてください。多くするなら、その理由を伝えてください。
②アマランス出入りの玄関に暗いイメージがあります。照明等で明るくしてください。（不詳）

- 小中学校の教育から映像等を使用して意識づけを行っていくと家庭環境に左右されず、今後の社会に変化をもたらしてくれると思っています。（女性・20代）

- 小中学校の生活の時間などで教えていく。授業参観や父の日参観などで親子で考える機会をつくる。（女性・40代）

- 職場、団体、政治等の分野に女性の方を積極的に登用してほしい。（男性・60代）

職場で男性上司から強い口調で指示されたり、嫌な現場を聞かされるという、私の友人たちからよく話を聞きます。言い返せない、何か発言をしたら大変なことになるから、その場その場で凌いでいるそうです。女性は弱い立場で見下している男性も多いと思います。男女平等や格差をなくすことは、とても大事だと思いますが、もっと身近なこと（女性に対する接し方、話し方）を見直してもらえたらと思います。（男性・60代）

- 職場にしても政治の場にしても、やはり女性を積極的に参加させることが大切だと思う。そして、男性はきちんと女性の意見を聞くこと。参加させても、政治の“セクハラやじ”問題のような女性軽視の社会では結局は同じこと。対等に意見をのべられ、また尊重される場をまずはつくらなければならないと思う。（女性・50代）

- 女性が社会に進出する為に、保育の施設や介護の施設を充実させた方がいいと思います。（男性・60代）

- 女性に対しての雇用や、共同で仕事ができる環境などが足りない。コミュニケーションをはかり仕事以外でも話ができる場所などを作る。サークルを作る。（男性・30代）

- 女性の意識改革も必要。（男性・50代）

- 女性の活躍はスポーツをはじめ、素晴らしいと思いますが、社会でどういう意見・不満があるのでしょうか？具体的に知らないの、そういう場があれば社会で解決に協調したいと思います。（男性・40代）

- 女性の就業の場の確保、子育て、介護での休暇の充実、男性の協力、女性の自立、今までの習慣や風習を変えるのは大変ですが、変わる努力は必要だと思います。（女性・40代）

- 女性のパートの賃金が全国平均より低すぎると思う。（女性・60代）

女性のパートは、生活費をかせぐために働く人が多いのが現状と思う。女性が働きやすい地域の保育サービス等の施設が多くなるよう、行政サービスをしてほしい。離婚者が増えている中、女性の子育てサービス、教育資金の充実を望む。母子家庭の子どもたちでも大学に行くのに困らない金額の貸付制度の充実を望む。子どもたちが生まれた家庭により教育差別を受けないように望む。（男性・60代）

- 女性は弱い立場と言われるが、一人親家庭などでは男性が弱い立場に立たされている方も多くいらっしゃる。その様な場合でも男女区別なく、保護（援助）されるべきだと思います。（女性・40代）

女性を積極的に登用するという文字が多く採用されてますが、社会常識・一般常識の少ない方を登用しても、おかしな事になると思います。教育がすぐれた方は時々、勘違いがある事をお見受けします。そのギャップをなくしていただければいいのではないかと思います。なにがなんでも女性を、ではなく実力がある女性をお願いしたいと思います。（男性・70代）

・ シングルマザーは補助金などがあるのに、シングルファザーにはないと聞いた事があります。それも男女差別だ
と思います。（男性・30代）

・ すべてにおいて男女という事を強制する必要はない。それぞれの選択であり自由である。（男性・40代）

・ スポーツ。男性チーム、女性チームと区別しないで混合チームで試合できるようなスポーツを考えて下さい。市
議選の時の女性立候補が少ない。もう少し女性が立候補しやすいようにしたらと思います。（男性・70代）

・ 待機児童を減らすために保育所の充実をはかる。（男性・40代）

・ 男女共同以前に40代以上の仕事も出来る町にしてほしい。今、50歳近くなると肉体労働の仕事がない。
他県の若い人を使う前にもっと長崎に住んでいる人に仕事出来るような町にしてほしい。（男性・40代）

・ 男女共同参画社会って何でしょうか？男と女はもともと脳の出来がちがうとか、男は男としてすべき事が、女は
子供をしっかり育てるべきではないかと思います。子供・育てる事こそ将来の日本のためになるし、それぞれが
役目を果たす必要があると思います。ただ、男性の女性に対する軽視はよくないと思いますが・・・（女性・
50代）

・ 男女共同参画社会というものに賛成ではもちろんありますが、何事に対しても対等、対等とばかりというのは少
し違うのではないかと思う事があります。男性と女性の適応力は違うと思いますし、それぞれ適材適所で発揮で
きる事があると思うのです。男性が女性は結婚して子どもを産み、社会の第一線で働くべきではないというのは
間違っていると思いますが、女性の言う何でもかんでも女性軽視を振りかざすのも、また違うと思います。
（女性・40代）

・ 男女の意識改革が必要（男が女を下に見る。女の男に対する甘えはないか？）
男女の仕事に対する平等な評価を義務付ける方策の取組み。（男性・60代）

・ 男女の平等と相互の理解協力があってこそ、良き参画社会出来ると思います。（男性・80代）

・ 男女の偏見に対する教育を行う。（男性・20代）

・ 男女平等がうたわれる中、まだ、ぬぐえない差別があるのは確かであり、企業や学校など根本的な部分での指導
が必要なのではないでしょうか。（女性・30代）

・ 男女平等とはうたっているものの、実際は男性重視の社会である。ポスター等での周知はいいが、目に見ただけ
では、なかなか改善しないと思う。やはり、女性は、家事、育児があり、社会進出は難しい。もっと、育児サ
ポートに充実や、休暇の取得しやすい社会を作るべきだと思う。また、職場においてもまだまだ雑用は女性の仕
事というのが定着している。出張講座等を通じて、男女の意識改革を行うのも必要ではないか。法律を制定して
も、実際、行動にうつさなければ意味がないと思う。（女性・30代）

・ 男女平等を意識しすぎでは。少子化、晩婚化と並行して解決していくべき問題なのは。（男性・30代）

・ 男女比率で考えず、男女を問わず平等な評価をして男女問わずリーダーを育成する。比率で考えると弱体化とな
る傾向がある。女性が活動しやすい環境（保育・制度等）を充実させる。（男性・50代）

・ 男性がまず、家庭において男女ともに協力しあって生活するにあたり、パートナーと共に参加出来る、家事の実
演会などのイベントをしてみても、実際どんな事をしていいのかかわからず、協力出来ない男性の為に試してみても
どうでしょうか？（男性・40代）

・ 男性よりも、はるかに優れていると思わせる仕事内容を、上司の人は見るべきである。それに対する金額も見
合った金額を与えるべきである。正社員なのに仕事出来ない方もいっぱいいる。不必要なお金は払うべきでは
ないと思うが・・・（女性・40代）

・ 転職で長崎に来て、まだ2ヶ月半。意見を申し上げるほど、市の施設や実態をまだよく知らない。（男性・50代）

・ どうしても女性は、出産のため仕事にブランクができ、仕事を続ける事が難しくなったり、家族に介護が必要に
なった場合に、その責任を負う事になる事が多い。ただし、育児、介護サービスの充実、男女共に育児、介護に
たずさわられる体制（主に経済面）が整えば、年配の方の固定観念（「男は仕事、女は家事」等）が多少残ってい
ても、一方に負担が偏る事は軽減されると思う。（女性・30代）

・ 同性どうしても、子育てや介護について関わった人でないと理解が得られない時がある。休暇の申し出がかなり
辛い時もあった。（女性・40代）

・ 長崎（九州）という土地柄、文化があると思う。”男尊女卑”は否めない。女性は、出しっぱらないという空気
を他から来たものには感じられる。「男女共同参画社会」のあらゆるPRを省・中・高校から教育を徹底すべき
である。（女性・50代）

・ 長崎市には、市の施設で動物園や大型の公園等の市民の施設が少ないと思います。男女の市民でプロジェクトを
つくり市民の施設を増やしてほしい。（男性・50代）

・ 何故、家から社会へ出られないのか、それは、目が離せない小さな子供が居るから。ファミリーサポートは良い
制度だと思います。しかし、あまりにも周知されていない。赤ちゃんや小さな子供を抱えたままで働いても、職
場に連れてきて、白い目で見られない環境を作ることが大事だと思います。妻の家事を少し手伝いますが、い
や大変。これに加えて社会で働け、共同参画だと言うのはあまりにも酷です。まずは、その負担を減らせる制度
作り（ファミリーサポート等）拡充が大切かと思っています。家事が楽になれば皆社会に出てくると思います。
（男性・30代）

-
- 年配者を排除し、若い人の考え方を取り入れる。明るい未来が描ける社会作りにより、結婚、子育てへと発展。女性の考え方の幅も広がる。男性への影響も大きい。（男性・40代）
-

- 能力のある人が上がってほしい。女性を、女性のリーダーを、一定の割合で登用をの時点で、女性重視の差別社会に向かっている。子や親を安価で預ける施設があれば能力のある男性・女性ともに社会に出るはず。出世したくない女性も沢山いる。一概に“女性を”はおかしい。保育・福祉サービスの整備が先。充実すれば女性の数は必然的に増える。（男性・30代）
-

- 働くお母さんたちが安心して働けるよう、職場環境の理解や協力、保育施設の充実、学童保育の充実が最優先。保育、介護の現場がサービス業にならないように行政の指導が重要。供働き夫婦では、妻の負担がまだ大きい。男女平等についての学校教育が必要。（女性・50代）
-

- 一人一人の意識を高めることが、何よりも大事なことであると思います。（男性・20代）
-

- 病児保育施設の充実（男性・30代）
-

- 夫婦共働きの際、子育て支援をさらに充実（病児保育の増加、休み取得のしやすさ、休日（日・祝日含）での予防接種・定期健診の実施など）（男性・30代）
-

- 扶養家族でないと損をするから仕事をしない。時間の制限があるというのは早く改善してほしい。保育園もこれから仕事を見つける人は子どもを預けるのが、まだまだ大変だと思う。（女性・30代）
-

- フルタイムで働いている場合、産休などを経て戻ってきても、なかなかフルでは仕事ができない状況があったりしますが、職場の雰囲気や居づらくなったり等がでできます。女性が安心して心おきなく戻ってこられるような職場の環境づくりが進むことを望みます。（女性・20代）
-

- 保育、学童の充実。勤務時間の短縮。職場の助け合いの精神を啓発。（男性・40代）
-

- 法律・制度の見直し。男女・均等な取扱いの周知徹底。上層部への女性進出。（女性・40代）
-

- 法をつくれ！！（男性・40代）
-

- まず、市役所の全所属の男女管理職比をガラス貼りにし、どうしたら長崎市役所が男女の管理職が5:5に近づくのか真剣に考えること。そこから得た経験を企業や地域にフィードバックしていけば長崎市は変わります。（男性・40代）
-

- 的外れな解答かもしれませんが、芸術に触れる事は良い事かもしれません。例えば、音楽をする時には男女に優劣などつきません。その個人の良さや、その集団の良さ、その場の雰囲気を楽しみます。難しいことを考えようとせず、その感覚を共有することが良いのではないかと思います。（女性・20代）
-

- 水辺の森の土地活用して、商業施設と観光施設を建設して、長崎市の観光の誘致とする。客船も近くにくるので、好立地であり、その中で外国の人々と触れ合うことで、男女共同参画社会の先進的である外国の人々から学べると思う。（男性・30代）
-

- 役所の調査不十分。（口先だけの職員は不要）条例を作り、モデルケース。企業を作り補助金をおとすなど、優位を設け差別化、評価をする。（男性・40代）
-

- 役所の定員の半数を女性にする。（男性・60代）
-

- 私のまわりの女性は、子育てでフルタイムで働ける人は少ないです。その中でもフルタイムで働けるのは私のように親の助けがある場合が多く、仕事をしたくても子どもがいて面倒をみてくれる人がいなければ、なかなか叶わない場合が多いのが現実です。子どもを安心して預けられるところがあれば、働ける女性も増えるのではないかと考えてます。特に、小学生になると預けるところがないように感じます。学童はあっても多くて入れない。また、働きたいと思ってない人は、家庭の仕事も大変だから、無理に働かないといけないとは思いません。（女性・40代）
-

- 私は男性女性関係なく、能力と適性があり、意欲があるのであれば、それを尊重して職業や役職に就ければ良いのだと思います。女性で管理職に就いたものの、仕事に集中しすぎて家庭が壊れてしまったという話を聞いたこともありますし、単に女性を職場の重要ポストに就ければそれでいいというわけではないように思います。（女性・20代）
-

- 夢、実現の社会への金融緩和。（男性・20代）
-